

香港証券取引決済所及び香港証券取引所は、本公表文の内容について一切責任を負わず、本公表文の正確性又は完全性について一切表明を行わず、また、本公表文の内容の全部又は一部から発生し、又は、それを信賴したことによるあらゆる損失に関する責任を明示的に否認します。



株式会社ダイナムジャパンホールディングス

(日本で設立された有限責任会社)

(証券コード: 06889)

任意公表 新型コロナウイルスの影響について

本公表文は、株式会社ダイナムジャパンホールディングス（以下「当社」といいます）が行います。

コロナウイルス感染症の拡大により、日本国内では2021年4月に、政府より3回目の緊急事態宣言が発令され10都道府県におきまして各業種への休業・時短営業、および、国民への行動制限が要請されました。

加えて、諸外国と比較してワクチン接種のペースが遅延している実態もあり、営業収入につきましては前年比70%から80%までの回復に留まっております。

当期の業績見通しとしては、2021年3月期決算を超える利益を確保できると想定しておりますが、依然として先行きが不透明であるため、具体的な数値については言及いたしません。

また、経済環境が良化せず、営業収入の増加が見込まれない状況が継続したとしても、各種経費を下げることを引き続き実施しており、構造改革を推進することで損益分岐点を下げ、継続的に安定した収益を確保できる体質に変化させております。

取締役会の命を受けて
株式会社ダイナムジャパンホールディングス
取締役会議長 坂本 誠

2021年5月26日、日本国、東京

本公表文の作成日において、当社の取締役兼執行役は坂本誠氏、当社の非業務執行取締役は佐藤洋治氏、佐藤公平氏及び保坂明氏、当社の独立非業務執行取締役は、加藤光利氏、トーマス・チュン・キー・イップ（Thomas Chun Kee YIP）氏、村山啓氏、神田聖人氏及び加藤公司氏です。

* 本公表文は、英語の原文を参考のために日本語訳したものです。日本語版と英語版に相違がある場合は英語版が正しいとみなされます。翻訳による誤解はいかなる場合においても株式会社ダイナムジャパンホールディングスの責任とはされませんのでご了承下さい。